

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	独自の理念「六つの誓い」があり、事業所の運営方針に基づいてユニットの方向性を定めています。		
2 理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	毎朝申し送りの際唱和し、常に心にとめ共有する事でその方らしい生活を送って頂けるよう取り組んでいます。毎月の会議の中でも、理念実現に向けて討議を行っています。		
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にされた理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	ご家族様には入居時に説明は行っており、玄関、ユニット内に掲示し、催し物等で地域の方々が来訪された時に見られるようにしています。地域イベント、町内会議、新聞の発行、回覧板の活用を行い地域広報を行っています。又、地域運営推進会議でも理念説明を行なっています。		
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	日頃より挨拶を行い、防災訓練や催し(さくら祭り、記念祭等)に参加してもらったり、子供が遊びに来たりと、おつきあいをしています。		今後もこの関係を大切に継続し、近所の方々との良好な輪を広げていきたい。
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	他施設の催し物、町内会行事(盆踊り、町内清掃、芋堀り等)小学校での行事の参加は続けています。	○	地域のイベントには積極的に参加をしたい。
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	地域貢献を兼ねて、リングブル、キャップ集めを行なっています。又、社会福祉協議会発行の情報誌や直接依頼で、ボランティアに来て頂けるよう取り組んでいます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	職員一同で見つめ直し、振り返り、厳しく評価した上で、改善に取り組んでいます。	今後の課題に直視し、励みとすることが出来る様に取り組んでいきたい。
8	<p>運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	運営推進会議で、報告・情報公表・意見交換を行い、サービス向上に努めています。時には他のグループホーム職員にも参加してもらっています。	
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	地域包括支援センター、社会福祉協議会との関係が深まってきており、相談しながらサービスの質の向上に取り組んでいます。又、包括ケア会議にも出席しています。	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	成年後見制度について、内容を理解している職員は少ないです。	○ 勉強会開催及び各自が自主学習し、必要に応じ支援ができるようにしたい。
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>	理念実現に向けてケアが行なわれている為虐待はありません。外部研修や勉強会を開き、防止に努めています。	○ 社内外の研修や、資料配布をすることで、更に徹底していきたい。
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	ご本人、ご家族の意思を尊重しながら意向を聞き、十分説明し、理解、納得してもらえるようにしています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日々の関わりの中で注意し、意見・苦情が出た場合には早急に改善を図ると共に、内容・改善点を記した報告書を作成し、全職員が周知する様に努め、運営に反映しています。</p>		
<p>14 家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>来訪時又は送付にて記録の閲覧をしていただき、必要に応じて電話連絡をさせていただいています。又、来訪回数のないご家族様については、月に1回在所確認書と共に手紙を送付し、入居者様の様子等の報告をしています。</p>		
<p>15 運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご意見箱が設置され、公的窓口の紹介も行っています。ご家族様からの意見等については、内容・改善点を記した報告書を作成し、全職員が周知する様に努め、運営に反映しています。</p>		
<p>16 運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の全体会議に本社職員も出席し、意見・要望を伝えられる場を設けています。又、面談等でも意見、要望を取り上げ、職員の要望が反映されるよう努めています。</p>		
<p>17 柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>状況に合わせた勤務調整を行っています。</p>		
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>職員の離職を抑えるため、職場環境の整備や配慮、面談を行っており、皆で支え合っていける環境作りに努めています。異動・離職等があった際は、一日も早くなじみの関係を作ることができる様、入居者様の把握に努め、関わりへの配慮をしています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>事業計画で、外部研修及び職員教育について立案し、実行しています。新入OJTプログラムは、都度組み直し作成しています。</p>	<p>個々の経験・力量に応じた教育計画が必要であり、検討していきたい。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>地域にて交流の場を設け、参加しています。同業者との交流は、まつり等のイベントを通して行っています。</p>	<p>市内グループホーム、グループホーム協議会の活動を通して交流を深めていきたい。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>不定期ではあるが、親睦会を実施しています。又、休憩時間を1時間は確保し、定期的に個別面談を実施しながら取り組んでいます。</p>	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>管理者、役職者は職員の状況把握をし、定期的に面談を行い、問題の抽出、解決に取り組んでいます。日々勤務の中でも現状を見極め、各自が向上心を持って働けるようにしています。</p>	
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居前にご家族様の協力を得て情報収集を行い、ご本人様の思いや考えを知り、信頼関係を築くようにしています。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>ご家族様の思い、要望、不安等をお聞きした上で、受け止め、信頼関係を築けるよう努めています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居希望などで、相談を受けた時、ご本人様の状況、ご家族様が困っている事等を、今、何を必要としているのか伺い、支援を見極め対応をしています。		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前の情報、及びご本人様との会話の中から得た情報を踏まえ、その方に合ったサービスを提供できるようにしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	人生の中で習慣化された経験(料理・手芸等)を活かせるよう働きかけ、入居者様と職員が共に生活しているという実感を持って頂ける様、支援しています。		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	来訪時にはケース記録を見ていただいたり、口頭にて状態の説明を行う中で、支援につき相談・協力依頼を行っています。来訪の頻度が少ない場合は電話連絡を密にする事で、関係を築いています。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご家族様が来訪した際は、入居者様と過ごしやすい様、配慮しています。事業所内で行事を行うときは、案内状、電話連絡にて、可能であれば参加していただき、入居者様との時間を過ごしていただいています。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	買い物、銭湯、他事業所の催しを通して、外出支援を行っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	入居者様の関係調整を常に行い、揉め事の原因を作らない様、又入居者様同士支え合うことができる様、努めています。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	入院等で退居された方へもお見舞いに行っています。その後の受け入れ先の相談等も随時行っています。又、年賀状、暑中見舞いを出したり、足を運んで頂けるよう行事にお誘いする等、関係の継続に努めています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様の思いを受け止め、意思を尊重しています。困難な場合はユニット会議等で検討し、意向の反映に努めています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	センター方式の中で細かな生活歴の情報収集を行い、ご家族様からも情報提供の協力を頂いています。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	常に、入居者様の表情・言動に注意しています。センター方式を使用し、生活歴、性格、現在の様子・状態、能力、要望を把握する様努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	入居者様やご家族様とのコミュニケーション、パートナー間での情報交換を日常的に行い、課題と方策を会議で検討しています。思いを叶えるための支援を介護計画として立案しています。	○	パートナー間で情報を共有し、計画に沿ったケアを行っていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	入居日から1ヶ月と3ヶ月、6ヶ月毎の見直しを行っています。又、介護度の変更や身体状況の変化に応じて、期間に限らず見直しを行っています。会議及び毎朝の申し送りの際に、現存のニーズを継続すべきか、新たなニーズが必要か検討しています。		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別記録は、介護計画に沿った内容か、別の出来事かが明確にわかるようにしています。新たな発見や状況の変化があった場合は新ニーズとして介護計画に活かしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	提携医や看護師による健康管理や、ホーム内で出来る簡単なリハビリ支援、外出等入居者様の思いを叶えるための支援を行っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	防災訓練やイベント時には、消防や民生委員、町内の方々のご協力を得られています。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	介護タクシーや配食サービスを利用しています。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域包括支援センターの会議に参加し、情報交換を行っています。		今後も必要に応じて協働していきたい。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>提携医があり、状態に応じて相談はしています。看護師にて日常の健康管理、24時間の緊急対応を行い、医療連携体制が整っています。</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>地域に認知症の専門医がおらず、精神科医、脳外科医へ相談しています。</p>		<p>提携医療機関に都度相談し、専門医への受診に繋げていきたい。</p>
45	<p>看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>事業所の看護職員と医師、又は看護師との連携は深まっており、支援しています。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>医療機関やご家族様と密に連絡を取り、入居者様の状況の把握に努めています。又、話し合いの中で得た情報をもとに退院した後の支援方法、生活支援をパートナー間で話し合い、取組みを行なっています。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>入居者様やご家族様の意向を第一に考え、かかりつけ医の指示を仰ぎながら全員で方針を検討しています。</p>		<p>ターミナルに向けての教育、体制作りを行っていきたい。</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>ご家族の要望を聞いた上で「できること、できないこと」を明確にし、相談しながらチームとしての支援を行っています。</p>		<p>提携医療機関との連携を深め体制作りを行っていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	入居者様、ご家族様、関係機関より情報を得て、ダメージ防止に努めています。退居して他に移る場合は、情報提供を行い、住み替えがスムーズに行えるようにしています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	プライバシーを損ねないよう、一人一人に合った声掛けを行っています。記録については実名を記載せず、他入居者と表記しています。		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	わかりやすい説明と、自己決定しやすい声掛けを心掛け、思いを表せるような支援に努めています。	○	訴えの少ない入居者様の思いを引き出せるよう努めていきたい。
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人一人に合ったペースを心掛けながら1人でも多くの入居者様の希望に沿えるよう考えながら支援しています。	○	職員同士で連携を取り、入居者の思いを受け止めながら対応したい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	洋服はご自分で選ぶ方もいますが、季節や天候に合わせてパートナーと一緒に選ぶ事もあります。理美容室は個別に外出支援として行ったり、ご家族が来訪された際行ったり、訪問美容サービスを利用しています。		
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	メニューは全員同じものを提供していますが、その方に合わせた量や好み等を取り入れています。盛り付け、片付け等は、負担にならないよう配慮しながらも、介護計画に沿って、できることをして頂くようにしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	タバコ、好きな飲み物など、お好みに合わせて提供させて頂いています。また個人の状況に応じて、カロリーオフの食物等を提供させて頂いています。		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるように支援している。	入居者様の習慣や排泄チェックシートを基に声掛け、トイレ誘導を行い、失敗が無いように支援させていただいています。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	お好みの時間に入っていただけるよう、日時を調整し、時には一緒に入浴し、楽しめる支援をしています。		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	夕食後はゆったりと過ごしていただき、入眠しやすい環境作りを行っています。日中でも傾眠が見られたり、お疲れの様子の際は、適時臥床していただけるよう、支援させていただいています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	生活の中で、張り合いや楽しみを見つけていただけるよう、家事等できる事は行っていただき、力の発揮への支援を行っています。又、外出支援等を積極的に行い、気晴らしも行っていただけるようにしています。		
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	外出時等、希望に応じてお金をお渡しし、買い物等していただいています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	希望のある時はもちろん、買い物、散歩、行事等、日常的に外出していただいています。		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	遠方への外出希望があった場合は、予定を立てて外出支援を行っています。また、行事等の外出レクリエーションの企画や地域のイベント等へも積極的に参加し、ご家族様もお誘いしています。		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	入居者様自ら電話をかけたり、かけられる様支援しています。ご家族様へ手紙を書くための準備、代筆等を支援しています。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでも来訪していただけるよう説明しています。又、入居者様とご家族様がゆっくり過ごしていただけるよう、飲み物等をお出しし、環境作りに努めています。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束はしないと理念に掲げ、拘束をしないケアを行っています。又、「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を周知する為勉強会を行っています。		
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	防犯上、夜間のみ施錠していますが、日中は鍵をかけず、自由に出入りされています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	リビング内には必ず職員が1名待機し、入居者様の所在確認、安全への配慮を行っています。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	薬は入居者様の目の届かない場所へ保管。洗剤、刃物等危険物も安全な場所へ保管し事故防止に取り組んでいます。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	事故を未然に防ぐ為に、些細な事でも事故に繋がりそうな事案はヒヤリハット報告書を作成し、原因や対策を職員で話し合っています。事故に至った場合も原因究明と対策を早急に話し、報告書によって全職員に周知し再発防止に取り組んでいます。火災に関しては、避難訓練や勉強会を設け、危険・搬送方法の理解に努めています。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	年1回救急法について学び、緊急、救急、防災マニュアルを整備しているが、全職員が対応できるとはいえません。	○	定期的に対応の指導、訓練、勉強会を行い、職員が自ら習得する必要性を認識し実行出来るようにしたい。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年2回火災訓練が行われていますが、夜間を想定した訓練など不安な面があります。地域の人々には、積極的に交流し、協力を得られるよう働きかけています。	○	火災訓練の時にも地域の人々に参加して頂けるよう、働きかけたい。
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	リスクが生じた場合には必ずご家族へ報告し、入居者様にとって何が一番良いのかを相談しながら対策を話し、ご家族様の協力を仰いでいます。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎朝バイタル測定し、体調をチェックしています。身体状況の変化を観察し、夜間帯も巡回を行い、異変の早期発見に努めています。申し送りにより、職員間で情報を共有し、状況に応じて救急マニュアルに沿って対応しています。		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の目的や副作用は、医師、看護師より説明があり、全職員に周知されています。又薬局からの薬剤情報書をファイルし、すぐ確認できるようファイルは常にキッチンに置いています。	○	薬局からの情報書を読むだけでなく、薬の効能等を学んでいきたい。
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	青汁、乳製品(牛乳、ヤクルト、ヨーグルト等)果物、食物繊維の多いものを提供するように心掛けています。又、体操の時間を設け、参加していただいています。		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	入居者様の状態に合わせ、一部介助、または全介助し、都度声掛けを行っています。		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	生活チェック表に記載し、一人一人に適切な水分、食事を提供するようにしています。	○	日中(15時頃)に中間量を確認し、摂取の少ない入居者様には促していきたい。
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザ予防接種は、利用者・職員共毎年実施しています。消毒液の設置、外出後の入居者様や職員、来訪者のうがい手洗いも徹底されており、感染予防マニュアルに沿って対応しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>食材は冷凍できるものは冷凍保存し、まな板等は夜間消毒しています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>建物周辺に花壇があり、日当たりの良い広い玄関で、親しみやすく工夫されています。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>カーテン等で光の調節に気を配り、窓の開閉にて換気を行っています。階段の壁には季節に応じた飾り付けがされています。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングには大勢で座れる団欒の場があります。多目的室もあり、一人一人が思い思いに過ごせるよう工夫しています。</p>		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時はなるべく使い慣れた物を持ってきていただき、少しでも居心地の良い生環境となるよう工夫しています。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>暖房の温度調節、換気はこまめに行っています。</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>リビング、トイレ等に手すりを取り付けています。また浴槽内には滑り止めを設置しています。</p>		
<p>86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>便所や浴室は、はっきりと解り易く手作りの表示がされています。又、入居者様によって居室の前に表札を付けたりと自立して暮らせるための工夫や声掛け、誘導を行っています。</p>		
<p>87 建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>建物の外回りには畑があり、農作業を楽しめる環境となっています。広いベランダがあり、外気浴をくしたり、洗濯物を干したり定期的に焼き鳥や焼肉等も行われています。</p>		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ全ての利用者 ○ 利用者の2 / 3くらい ○ 利用者の1 / 3くらい ○ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎日ある ○ 数日に1回程度ある ○ たまにある ○ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ全ての利用者 ○ 利用者の2 / 3くらい ○ 利用者の1 / 3くらい ○ ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ全ての利用者 ○ 利用者の2 / 3くらい ○ 利用者の1 / 3くらい ○ ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ全ての利用者 ○ 利用者の2 / 3くらい ○ 利用者の1 / 3くらい ○ ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ全ての利用者 ○ 利用者の2 / 3くらい ○ 利用者の1 / 3くらい ○ ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ全ての利用者 ○ 利用者の2 / 3くらい ○ 利用者の1 / 3くらい ○ ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ全ての家族 ○ 家族の2 / 3くらい ○ 家族の1 / 3くらい ○ ほとんどできていない

. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ほぼ毎日のように 数日に1回程度 ○ たまに ほとんどない
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	○ 大いに増えている ○ 少しずつ増えている ○ あまり増えていない ○ 全くいない
98 職員は、生き生きと働いている	○ ほぼ全ての職員が ○ 職員の2/3くらいが ○ 職員の1/3くらいが ○ ほとんどいない
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ほぼ全ての利用者が ○ 利用者の2/3くらいが ○ 利用者の1/3くらいが ○ ほとんどいない
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ほぼ全ての家族等が ○ 家族等の2/3くらいが ○ 家族等の1/3くらいが ○ ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

入居者様、ご家族様、職員が支え合い助け合いながら、地域社会の中で地域の一員としての生活を形にできるよう努めています。